

東海大学医学部法医学分野にて

2020年4月1日から2026年4月30日の間に法医学解剖または検案を実施された故人の
ご遺族の方へ

生命科学・医学系研究に対するご参加のお願い

【研究の実施について】

東海大学医学部基盤診療学系法医学分野では、法医学解剖・検案時に撮影されたCT画像および警察等を通じて提供された生前CT画像を用いて、死因究明および個人識別に関する研究を行っています。この研究は、東海大学医学部臨床研究審査委員会の承認を受け、関係する法令および倫理指針に従って実施されます。研究に使用する情報は、氏名等の個人情報を削除し、個人が特定されないよう適切に管理した上で使用します。なお、研究成果は学会発表や論文等で公表される場合がありますが、個人が特定されることはありません。

【参加を希望されない場合】

故人に関する情報の研究利用を希望されない場合は、下記の連絡先までご連絡ください。ご連絡があった場合には、研究対象から除外いたします。ただし、研究成果の公表後には対応できない場合がありますので、ご了承ください。

【研究の概要】

対象者：西暦2020年4月1日～2026年4月30日の間に、東海大学医学部基盤診療学系法医学分野で法医学解剖・検案を実施された方

研究課題名：死因および身元特定のための死後CT解析

倫理審査番号：26R014

研究期間：【許可日】～2031年3月31日

26-612

【本研究の目的・意義】

本研究では、法医学解剖・検案時に撮影された死後CT画像および生前CT画像を用いて、死後変化を考慮した死後CT画像評価法について検討を行います。死後CT画像における病変、外傷、死後変化等の画像所見を解析するとともに、骨、血管、臓器等の形態的評価を行うことで、死因究明、年齢推定、既往歴推定および個人識別への応用可能性について検討します。

死後CT画像には死後変化や蘇生処置等の影響が加わるため、臨床CT画像とは異なる解釈が必要となる場合があります。本研究により死後CT画像評価法に関する知見を蓄積することで、死因究明精度の向上や個人識別への応用、法医学実務の標準化に寄与することが期待されます。

本研究の成果は、学会発表や論文等により公表する予定です。

【使用する情報】

法医学解剖・検案時に通常業務として撮影された死後CT画像、年齢、性別、身長、体重、既往歴、死亡状況、死亡推定時刻、死因、死因の種類、死後経過時間、骨所見、血管所見、臓器所見、損傷所見を

含む死後 CT 所見、解剖所見、生前画像情報、生前医療情報、法医実務上実施された各種死後検査結果を使用します。

〔個人情報の取り扱い〕

本研究で得られた試料・情報は、氏名等の直接個人を識別できる情報を含まない形で取り扱います。研究解析には法医学分野内で付与された事例 ID を用い、研究対象者との対応は法医学分野内で管理されている既存資料により可能です。既存資料は施錠管理された環境下で適切に保管します。研究データはアクセス制限された環境で管理し、研究終了後 5 年後もしくは成果発表から 3 年後のいずれか遅い日まで保管した後、適切に破棄します。なお、元画像データは法医学実務記録として法医学分野内サーバーに保存されます。また、本研究で得られた情報は将来新たな研究に利用される可能性があります、その場合には改めて倫理審査委員会の承認を受けた上で使用します。

〔情報の開示について〕

ご希望があれば、研究計画の資料やご自身の情報について、可能な範囲で開示いたします。ご家族と一緒に説明を受けることも可能です。ご不明な点があれば、遠慮なくお問い合わせください。

〔研究資金・利益相反^{リエキそうはん}について〕

この研究は学内資源を用いて実施され、企業等からの資金提供はありません。研究責任者および研究実施者に、本研究に関して研究結果に影響を及ぼすような企業等との利害関係はありません。

〔研究組織〕

研究機関名：東海大学医学部基盤診療学系法医学

研究責任者所属・氏名：教授 垣本 由布

その他、本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

〔お問い合わせ先〕

東海大学医学部基盤診療学系法医学

電話：0463-93-1121（代表） 内線：2630

研究責任者（代表者）：法医学 垣本 由布

〔更新履歴〕

2026 年 5 月 6 日 第 1 版